



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第3号

令和3年5月7日発行

文責 校長 宮地 浩幸

差別や偏見のない学校に

4月の集会で、東京オリンピックの開閉会式統括が辞任されたことを題材に話をしました。内容は、タレントの渡辺直美さんをオリンピックのマスコットキャラクターとして「オリンピッグ」とする予定だったことが原因で辞職に至ったというものでした。明らかに渡辺さんの容姿と「ピッグ(豚)」が関連付けられたものと推察できます。小学校の低学年の児童にも、人を見た目だけで判断し、差別するようなことを言うてはいけないということを指導するのにはわかりやすかったと思います。コロナ禍においていまだに、医療従事者や感染者などに対して心無い発言があることを耳にします。非常に残念なことです。

今年加唐小中学校は、児童生徒の構成年齢が下がりました。小学校低学年にはまず、差別や偏見を持たない優しい心遣いを身に付けてもらいたいと思いました。そして小学校高学年や中学生には、さらに深い読み取りを促しました。それは渡辺さんが「私は、この体型で幸せです」と認識されていることです。個人的にですが、私は渡辺さんが大好きです。嫌味がなく、仕事ぶりがまっすぐで見ていて気持ちがいい。自己表現だけで、周りの笑いを生み出す。まさにプロのなせる業だと思います。自分の職業は何で、何をすべきかわかって行動し、そして、自己肯定感の高さは見習うところが多いと思いました。そんな話を子ども達にして、自分をもっと好きになる。自分は何をしなければならぬか考え行動することをお願いしました。



授業参観，育友会総会ありがとうございました。

4月24日(土)に午後から、授業参観と育友会総会を行いました。本年度初めての授業参観ということもあり、児童生徒、職員ともども少し緊張気味ではありましたが、いつもの授業の様子を示すことができたと思います。昨年度もそうでしたが、保護者の皆様の熱心な教育の姿勢が反映されるように我が子の様子を観察されているのを見るととても安心します。教育は学校、家庭、地域の連携があって成り立つものです。授業を参観されてお気づきやご意見があれば、担任や学校の方へご連絡ください。よりよい教育ができるよう



学校としては努めてまいります。

授業参観の後に、育友会総会を行いました。昨年度はコロナ禍にありちょうどこの時期が、臨時休業の時期でしたので、紙面決済となりました。本年度は会員の皆様に会していただき、業務、予算等についてご審議いただきありがとうございました。

合同スピーチ（小川小学校と）

本年度も小学生は高島小学校、小川小学校とテレビ会議システムを用いて合同スピーチを行います。本年度最初の合同スピーチが4月21日（水）に行われました。今回のテーマは進級して頑張りたい事です。子ども達の話の聞いていると算数と国語の漢字を頑張りたいという意見が多くありました。子ども達は進級して、「勉強が難しくなった。」「勉強が大切だ。」というのをよく意識していました。その中で、やはり大きな壁は算数と漢字のようです。小学校の時に「計算する力」、「書く力」は絶対に身に付けておかなければならない基礎学力の最も大切なものだと考えます。子ども達がそれを意識して、日々学校生活を送っていることは、勉強への意欲につながり、島の子供達達の真面目さを窺うことができました。



また、島の学校では子ども達の人数が少ないので、学年が上の児童はどうやってみんなをまとめたらいいかということに苦慮しているようです。子ども達には、学校の中でいろいろなことへ挑戦し、失敗を繰り返す中で、成長して行ってほしいと思います。失敗を恐れず、今何をなすべきなのかを考え、成長する子ども達を学校はしっかり支えたいと思います。

新学期が始まって、ひと月が経ちました。

本年度もひと月が過ぎました。新入生の子ども達も学校に慣れて、楽しく毎日を送っているように感じます。本年度赴任して来られた先生方も子ども達との適切な関係性を築き互いの信頼が深まっているように感じます。校長として学校の中心が小学校の低学年に移ったことで、気を付けることも随分と変わってきました。まず、安全で安心できる学校環境を作ること。もちろんこのことは、年齢構成に関わらず、第1に考えるべきなのですが、「廊下を走らない。」「嫌な言葉遣いをしない。」「落ち着いて勉強しよう。」など昨年度はあまり気にしなくてよかったことが子どもの発達段階に合わせ、今指導をしておく必要があることを強く感じます。



新しい先生との対面式

また、佐賀県内の学校で喫緊の課題の1つが学力向上の問題です。本校でも決して例外ではありません。昨年度、学習状況調査の結果においては、かなり良い傾向を示すことができましたが、油断はできません。本校は、児童生徒の人数が少ないことを強みとして、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育を施し、学力向上に努めることはこれまで通りなのですが、思いやりの気持ちをもって、落ち着いた学校生活を送り、勉強に集中することは、絶対的な条件です。子ども達の内面的な成長を期待して、学習規律や家庭学習の習慣づけをご家庭との連携をもって是非成し遂げたいと思います。

最後に、先日体育大会の実行委員会を実施しました。結論として、新型コロナウイルスの終息のめどがつかない状況においては、本年度の体育大会も学校と保育所だけで行うことが決まりました。体育大会を5月29日（土）に計画しました。子ども達はこれから、体育大会の準備に入ります。特に大きな学校行事であるために、それを初めて経験する小学1年生の体力も心配されます。健康に留意し、無理のない状況で、異学年の子ども達がそれぞれの役割を十分反映できる体育大会を目指したいと思います。